

変形性膝関節症の手術治療

葛城病院 院長 人工関節センター長 中島幹雄

変形性膝関節症とは膝の軟骨がすり減ってきての脚や膝の痛みが進んでくる病気です。軽い場合は保存的に治療しますが、それでもうまくいかない場合に手術で対処することになります。

どんな手術が良いかは膝の変形の程度、年齢、活動性、生活環境によって違ってきます。図に大まかな基準を示していますが、これらの状況次第では、どの手術も当てはまることがあります。一般的に変形が軽く、年齢

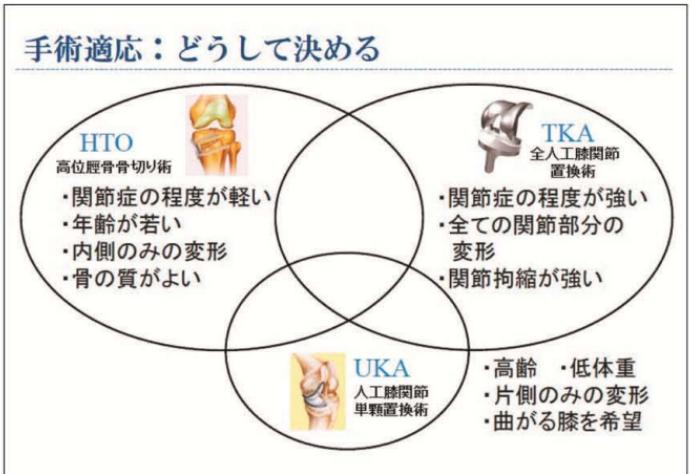
が若く、活動性の高い人ほど高位脛骨骨切り術が良いでしょう。まだしめに仕事をしたい、という人には人工関節は勧められません。激しく使えば人工物はすり減ったり壊れたりしてしまうものなので。

一方、高齢の方には骨切り術は勧められません。骨切り術は言わば人為的な骨折手術なので骨が丈夫でないと治りにくい場合があります。また骨切り術は骨が治るまでのリハビリ期間が長いため高齢の方はもちろん、早く社会生活に復帰したい

人にも勧めにくい手術です。やはり骨切り術は变形が軽くて若い方がいい手術と言えそうです。人工膝関節には2種類があり悪い方の片側の手術と言えます。人工膝関節單顆置換術（人工膝関節単顆置換術）と全部を換えてしまう手術（全人工膝関節置換術）です。それぞれに長所、短所はあります。どちらが良いかは患者さんの变形の程度、活動性、体重などにより決まります。

知り合いに勧められた手術が、そのまま自分に当てはまるとは限りません。手術するかしないか、どんな手術がよいのかレンントゲン撮影などで患者さん自身の状態をきちんと診断し、膝関節専門医と生活スタイルや家庭環境などを十分に検討して上で決めた方が良いと思います。誰でも手術は嫌なものです。ダメなら思い切るのも必要です。良いタイ

手術適応：どうして決める



院長
人工関節センター長
中島 幹雄

＜資格＞
●日本整形外科学会代議員・専門医、
同学会認定リウマチ医、同学会認定運動器リハビリテーション医
●日本リウマチ学会専門医・指導医

市民健康講座

入場
無料

「気になる脳神経外科シリーズ」を開講します

第15回 脳神経外科でよく耳にする言葉のお話

1月29日(金) 14:30~16:00 / 児玉 隆浩

第16回 認知症を「手術で」治す

2月20日(土) 14:30~16:00 / 山口 和伸

第17回 「しひれ」についてのお話

3月3日(木) 14:30~16:00 / 樹山 三毅

第18回 「頭部外傷」に関するお話

4月15日(金) 14:30~16:00 / 佐賀 広

場所：葛城病院 2階研修室

お申込み・お問合せは、地域医療連携室まで

人工関節センターのご案内

○中島幹雄医師

※診療予約もしくは紹介状をお持ちの方は当日受け付けします

▷火曜(朝診)、金曜(朝・夜診)

○常德剛医師 ▷水曜(朝診)

●朝診… 9:00~11:30(受付 8:00~)

●夜診… 17:00~19:30(受付16:00~)



医療法人大植会 葛城病院

TEL.072-422-9909(代) 岸和田市土生町2-33-1

【外来診療時間】9:00~11:30/13:00~16:00/17:00~19:30 ※科目により時間が異なります

【診療科目】●内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・糖尿病内科・外科・心臓血管外科・肛門外科

●整形外科・脳神経外科・形成外科・リウマチ科・皮膚科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・放射線科

【センター】●下肢静脈瘤治療センター・健診センター・人工関節センター・脊椎外科センター

ミングで良い選択をするために当院の人工関節を一緒に考えていきましょう。